



日本ステンドグラス作家協会

JSGaA

会報誌vol.19

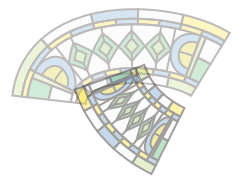
2018年5月



● 新会員紹介 \*\*\*\*

小野田 幸江 (グラススタジオ Briller)

この度は、日本ステンドグラス作家協会に入会させていただき有難うございました。
スタンドと出会って10年、まだまだ未熟な私ですが入会を機に皆様からたくさんの事を学び、多くの方々にガラスの美しさをもっと身近に感じてもらえるような作品作りを目標に精進していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



大橋 真理子

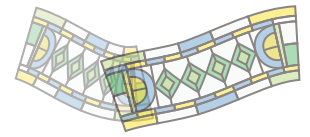
(大橋真理子ステンドグラス工房)

初めまして。作家協会に入会でき大変嬉しく思います。
また、何か新しいものに出会えそうで心ワクワクしています。
この会に入会し会員の方々の技術を勉強しながら、オリジナルティな作品を作成していきたいと思っています。
どうぞ宜しくお願い致します。



丹 千春

時間をかけ、コツコツと積み上げる事が苦手です。それでも、お茶を飲むのも忘れ制作に没頭しています。
手は真っ黒 爪はぼろぼろ、時には切り傷。それでも 続けていられるのは、窓からの光を透かして仕上がりを確認したときの嬉しさをまた味わいたいからのような気がします。
手作業の 困難さから生まれる、輝く作品を作りたいと思います。



● 活動報告 \*\*\*\*

- 2017.12.11 第4回実行委員会
- 2018. 2.19 第5回実行委員会
- 2018. 3. 4 第6回実行委員会
- 2018. 4. 9 研修会開催(東京都美術館スタジオ)

● 活動予定 \*\*\*\*

第7回 JSGAA 日本ステンドグラス作家協会展

2019東京“EMOTION VII 感動”

【会期】2019年5月11日(土)~5月18日(土)予定

【会場】東京都美術館ギャラリーA



一般公募のお知らせ

次回(2019年5月)東京都美術館で開催される当協会展の一般公募作品を募集しています
2019年2月28日申し込み締め切り・必着
詳細はHP又は事務局までお問い合わせください



ホームページ

http://jsgaa.org/

\*本協会への入会希望・お問い合わせは事務局及び各会員までお願いいたします

発行日 2018年5月1日  
 発行者 日本ステンドグラス作家協会  
 (事務局) 〒108-0074  
 東京都港区高輪4-2-7-201  
 林 晶子 (A工房)  
 info@jsgaa.org  
 編集者 〒189-0024  
 東京都東村山市富士見町1-12-2  
 ヴィラージュ・ヴェール6番館101  
 小沼 貴子 (atelier シリカ)  
 tel 042-396-0396

\*会員の方々の記事・作品写真等募集しております

## 研修会

平成30年4月9日(月)  
【東京都美術館 スタジオにて】  
田中アートグラス株式会社  
会長 田中聖清氏を講師にお迎えし  
研修会を行いました



「硝子の組成及び物性」について  
最近では板硝子も新しい用途、新しい種類の製品が増加し、その性質を十分に理解しないと、完全につかひこなす事が難しくなってきました。建築板硝子とステンドグラスに使われている硝子についてその原料と基本的な性質を学びました。



### 戦後のステンドグラスの歴史

ステンドグラスの日本での最初の製作者は宇野澤辰雄です。明治政府の命でドイツに工業使節団として派遣されステンドグラスの製作技術も合わせて習得し帰還しました。一方、アメリカへ渡った小川三知はアメリカ流のステンド技術を学んで日本に帰還しました。これが日本のステンドグラスの二大技術ルートです。



昭和十年を過ぎるとヨーロッパからもアメリカからも輸入が難しくなり硝子輸入が閉ざされました。が昭和25年

アメリカ軍の兵舎や軍属の個人住宅に硝子が必要なため外務省経由にてアメリカ軍基地に必要な硝子の調達で輸入が再開。第二次世界大戦後 通商産業省より硝子輸入割当をもらえた会社は大阪では山田商店・境 栄助商店・原田産業(株)の三社 東京では原田産業・高砂貿易の二社と記憶している。輸入割当制度(IQ)は昭和39年まで続き通産省からドルをもらいその分だけしか輸入できないというものでした。

昭和30年代のステンド工房の様様  
東京では松本ステンド・大伴ステンド・大竹ステンド  
大阪ではベニス工房・玲光社木内ステンド。九州では  
東洋ステンド東洋ステンド(帆足ステンド)等と取引があった

1970年代に入りアメリカではアメリカ生まれの芸術作品を探そうという運動が起こり残念ながらティファニーランプただ一つだけの結論となり再評価運動が起こった。(氏も15年間参加)  
1990年頃日本政府及び都道府県の建てる建築物に費用の2~4%比率で芸術作品を採用するよう時限立法で決まり、その為ステンドグラスやモザイクタイルが多く採用されるようになり全国的にステンドグラス工房とティファニーランプ工房が出来るようになった。  
【資料要約】

### 【外国の硝子メーカー】

“アメリカ”  
ココモ・ウィズマーク・スペクトラム  
ウロボロス・ブルザイ・ヤカガニー  
フリーモント  
“フランス”  
サンゴバン・サンジュ  
“ドイツ”  
ショットデザーク・ランバーツ

田中アートグラス株式会社  
578-0955 東大阪市横枕南  
1-14  
Tel : 072-963-5621



田中先生の長く硝子とステンドに携わること経験と知識を熱くご教授頂き今後の当協会、各会員の制作向上に繋げるべく  
感謝申し上げます。



## 都内、東京近郊で見られるステンドグラス

東京銀座 花郷(はなさと)  
箱根彫刻の森美術館(神奈川県)  
鳩山会館(東京都文京区)  
聖イグナチオ教会(東京都千代田区)  
品川プリンスホテル1Fロビー  
横浜 山の手西洋館「外交官の家」  
上野国立博物館  
国立科学博物館  
東京ジャーミィ(代々木上原)  
飯田橋駅区界ホール  
横浜市開港記念会館  
鉄道博物館(埼玉県大宮)

箱根彫刻の森美術館



聖イグナチオ教会



品川プリンスホテル



銀座はなさと



横浜 外交官の家

鳩山会館

